

都市再生整備計画(第1回変更)

ひがし ちく
東地区

ほっかいどう いわみざわし
北海道 岩見沢市

令和8年1月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォーカブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	北海道	市町村名	岩見沢市	地区名	東地区	面積	11.6 ha
計画期間	令和 7 年度 ~ 令和 11 年度	交付期間	令和 7 年度 ~ 令和 11 年度				

目標

- 大目標：みどりと人のつながりでつくる、安全・安心に暮らすことが出来るまちづくりの推進
- 目標1：地域医療体制の充実による安全・安心なまちづくりの推進
- 目標2：公園空間の再整備による魅力ある交流環境や健康増進活動の推進

目標設定の根拠

都市全体の再編方針（都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の考え方を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針）

岩見沢市は、明治15年幌内線田鉄道、幌内～手宮間が全線開通し、岩見沢駅が開設されたことを受け、明治17～18年には、山口県・島取県（ほか10県からの集団移住により、開拓が始まった。明治24年には、岩見沢～歌志内間、明治25年には岩見沢～輪西（室蘭）間の鉄道が開通し、陸上交通の要衝となり、明治30年に空知支庁が設置され空知の中心都市として発展した。高度成長期には、札幌市のベットタウンとして、幌向地区や上幌向地区など宅地開発が進み、平成7年には人口97,045人（平成18年に市町村合併した栗沢町と北村を含む）を記録した。しかし、その後は人口減少・少子高齢化の波が訪れ、また、郊外での大規模商業施設のオープンやモータリゼーションの普及により、拡大してきた市街地は、空洞化が進み、都市としての求心力も低下している。

人口が減少し高齢化が進む中、医療施設の充実は、将来にわたり安心して暮らすための重要な要素になると見えるが、施設の老朽化や医師・医療従事者の確保など様々な課題がある。こうしたことから、国の重点支援区域となり岩見沢市立総合病院と北海道中央労災病院を再編統合し機能集約することにより、南空知の二次救急や重症疾患への対応など急性期機能の維持・強化を図る。また、公共交通機関によるアクセスや自家用車での通院におけるアクセス路や駐車場を整備し、誰もが利用しやすい拠点づくりに努める。

公的不動産マネジメントについては、岩見沢市公共施設等総合管理計画に基づき、都市機能の再配置を検討するとともに、人口規模に見合った適正な施設規模に向けた統廃合、床面積の削減など効率性の優れた利用形態の実現を目指す。移転後の現岩見沢市立総合病院は、新棟については、今後、公共・公益施設等の集約化による利活用を検討し、本館については、老朽化が激しいため、除却することにより床面積の削減を行い、維持管理コストの低減を図り、財政基盤の安定な運営に努める。

まちづくりの経緯及び現況

本市は札幌市から東方約40kmの距離にあり、石狩平野の東部に位置し、JR岩見沢駅はJR函館本線及びJR室蘭本線の分岐駅となっており、古くから輸送における交通結節点として、市街地が発展してきた。また、国道12号及び国道234号が通り、市街地の南側を北海道縦貫自動車道が通る等、交通の要衝となっている。

市中心市街地は、JR岩見沢駅とバスターミナルがある公共交通の要所であり、かつては賑わいを見せていましたが、近年は空き店舗が増えつつある。

本市が策定した「第6期岩見沢市総合計画」において、将来の都市像として「人と人とまちがつながりともに育み未来をつくる健康経営都市」を掲げ、「みんなが健康で元気に暮らせるまち」を基本目標の一つとしてまちづくりに取り組んでいる。

また、「岩見沢市都市計画マスタートーナンス」において、「コンパクト+ネットワークのまちづくり」や「地域プランディングの推進」を目指すべき方向性として掲げ、都市機能施設や住宅の集積、地域公共交通の再編や都市の骨格となる道路によるネットワーク形成に取り組んでいる。

当地区は、北海道中央労災病院や商業施設、福祉施設等が立地しており、当地区的東側には土地区画整理事業による住宅地、中心部には水明公園がある。

岩見沢市立総合病院は南空知医療圏の地域センター病院として、急性期医療提供の充実が求められている。北海道より人口減少下における急性期機能の維持・強化を図るために、機能集約化など再編統合に向けた議論を進めていただきたい。」との論点提起があり、南空知医療圏の地域センター病院として、急性期医療提供体制の充実を図るために、独立行政法人労働者健康安全管理機構が設置・運営する北海道中央労災病院との再編統合を進めることとなった。

課題

- ・岩見沢市立総合病院は南空知医療圏の地域センター病院として、人口減少下における急性期機能の維持・強化を図るために、北海道中央労災病院との再編統合を含めた機能集約化等が求められている
- ・現岩見沢市立総合病院敷地は手狭であり、一部借地をし駐車場を確保しているが、特に冬期においては雪の堆積場として駐車場の一部が使用されるため、自家用車での通院に支障をきたしている。
- ・人口の減少や高齢化の進行に伴う公園に求められる質（機能）の変化を踏まえた公園機能の見直しが求められている。
- ・限られた財源の中で魅力ある公園整備を行うため、効果的な再整備が必要であり、地域住民からも公園整備を求める声が上がっている。

将来ビジョン（中長期）

- ①第6期岩見沢市総合計画（2018-2027）（平成29年度策定）
 - ・災害の発生に備えた地域防災力の向上等市民が安心して暮らせるまちづくりの推進
 - ・地域全体で市民の元気で健康な生活を支える「健康コミュニティ」の推進
 - ・新産業の創出等による雇用の拡大、市中心市街地の活性化を通じた賑わいの創出の推進
 - ・市の未来を担う子どもたちの豊かな心や生きる力を育む社会、生涯学習の充実や芸術文化、スポーツに親しむことのできる環境づくりの推進
 - ・利便性の高い市街地や快適な居住環境の形成、公共交通の利便性の向上の推進
 - ・積極的な情報発信の充実と市民が市政に参画する機会の充実及び持続可能な行財政基盤確立の推進
- ②岩見沢市都市計画マスタートーナンス（2006-2025）（平成17年度策定）
 - 「みどりと人のつながりでつくる安全・健康・文化都市いわみざわ」を将来都市像とし、以下のを目指すべき方向性を定めている
 - ・まちなかを回遊しながら楽しめるような生活の実現を目指す「コンパクト+ネットワークのまちづくり」
 - ・生涯暮らし続けたくなる緑に包まれた都市の創造を目指す「地域プランディングの推進」
 - ・市民がお互いをサポートしあう仕組みや活動の拠点を広げていくことをを目指す「市民協働、公民連携によるまちづくり」
- ③岩見沢市立地適正化計画（令和7年3月策定）
 - ・本地区は新病院の整備を契機に、親和性のある機能を集積することを展望し、都市機能誘導区域に設定している。

都市構造再編集中支援事業の計画

都市機能配置の考え方

- ・都市拠点や各種ゾーンを含めた都市骨格軸として位置付ける中央地区では、市民生活を支える重要な区域として、経済機能の他、文化機能や交流機能の充実を図る。
- ・医療福祉ゾーンとして位置付ける東地区（当該地区）では、日常生活を支えるサービス機能に加え、市民の命を守る拠点として医療及び福祉機能の充実を図る。
- ・沿道商業ゾーンとして位置付ける西地区では、ロードサイド型の大型店舗が集積しているため、今後も市民や南空知医療圏住民の生活を支える商業機能の充実を図る。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方

健康づくりの核となる医療施設の整備や、体を動かしんどりを感じることができる施設としての公園の充実により、安全・安心で豊かに暮らせるまちづくりの実現を図る。

目標を量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地域医療体制に対する市民満足度	%	適切な医療を受けられる体制が整っていると感じる市民の割合	新病院整備により地区の魅力を向上させ、また、医療環境の強化により地域医療体制に対する市民満足度の向上を目指す	20.3%	R3	22.3%	R11
緑豊かなまちづくりに対する市民満足度	%	公園等の整備により緑あふれる都市空間に魅力を感じる市民の割合	新病院整備に合わせ公園の再整備を行い市民交流活動を促進することで、緑豊かなまちづくりに対する市民満足度の向上を目指す	29.8%	R3	32.8%	R11

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【地域医療体制の充実による安全・安心なまちづくりの推進】</p> <ul style="list-style-type: none">・市民が誰でも安心して治療を受けることのできる医療の拠点づくり・南空知医療圏の地域センター病院として、急性期医療提供体制の充実を図る・国道へのアクセス機能確保による、迅速な輸送体制の確立	<p>【基幹事業】 誘導施設・医療施設(岩見沢市新病院、元地の管理の適正化) 【関連事業】 岩見沢市新病院建設事業(市立病院) 【基幹事業】 道路(市道新設)</p>
<p>【公園空間の再整備による魅力ある交流環境や健康増進活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none">・既存公園のリニューアルを行い魅力を高めることで、みどりを感じながら市民の交流活動や健康づくりの促進を図る・周辺住民や病院利用者の子供だけでなく、入院している子供も含め誰もが気軽に遊ぶことができるインクルーシブ遊具の設置	<p>【基幹事業】 公園(水明公園)</p>
<p>その他</p> <p>【官民連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・岩見沢市立総合病院と北海道中央労災病院の統合に係る基本合意書の締結(令和3年7月)	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集中支援事業)

樣式(1)-④-1

交付対象事業費	1,882.0	交付限度額	941.0	国費率	0.5
---------	---------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
	道路	市道2条線(新設)	岩見沢市	直	190m	9	10	9	10	265	265	265	265	265	—	
	公園	水明公園	岩見沢市	直	13,400㎡	7	11	7	11	222	222	222	222	222	—	
誘導施設	医療施設	岩見沢市新病院(精神外来部門)	岩見沢市	直	33191.78㎡	7	10	7	10	149	149	149	149	149	1.1	
	元地の管理の適正化	(廃止施設)岩見沢市立総合病院	岩見沢市	直	23,767㎡	8	11	8	11	1,246	1,246	1,246	1,246	1,246	—	
	合計									1,882.0	1,882.0	1,882.0	0	1,882.0		

...A

提案事業													
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分
地域創造													
支援事業													
事業活用													
調査													
まちづくり活動推進													
事業													
合計										0	0	0	0

都市再生整備計画の区域

様式(1)-⑥

東地区(北海道岩見沢市)	面積	11.6 ha	区域	岩見沢市3~4条東16丁目の全部と5条東16丁目の一部
--------------	----	---------	----	-----------------------------

